シンポジウム・市民向け公開講座

SY1「味覚による摂食代謝調節」

チャンネル：Ch2
7月3日（土）9:00-11:00

オーガナイザー：佐々木　努（京都大学大学院農学研究科食品生物科学専攻栄養化学分野）

SY1-1　味蕾における味覚受容の細胞分子メカニズム

○野村　憲吾[1)]、樽野　陽幸[1,2)]
1)京都府立医科大学　大学院医学研究科　細胞生理学、2)国立研究開発法人科学技術振興機構　さきがけ

SY1-2　空腹時に味覚を変化させる視床下部神経ネットワークの解明

○中島　健一朗
自然科学研究機構　生理学研究所　生殖・内分泌系発達機構研究部門

SY1-3　糖質過剰摂取のメカニズム

○八十島　安伸
大阪大学大学院　人間科学研究科

SY1-4　人工甘味料の継続摂取は頭相反応を撹乱し、耐糖能を悪化させる

○大槻　智也、松居　翔、小栗　靖生、都築　巧、佐々木　努
京都大学大学院　農学研究科

SY2 若手シンポジウム「生活習慣病の代謝バイオロジー」

チャンネル：Ch3
7月3日（土）9:00-11:00

オーガナイザー：山内　祥生（東京大学大学院農学生命科学研究科応用生命化学専攻）

SY2-1　メバロン酸経路を介した骨格筋恒常性制御機構

○山内　祥生
東京大学大学院　農学生命科学研究科

SY2-2　コレステロールトランスポーターによる脂溶性物質の体内動態制御と病態生理学的意義

○山梨　義英、高田　龍平、鈴木　洋史
東京大学医学部附属病院　薬剤部

SY2-3　自然抗体エピトープである酸化タンパク質と代謝疾患

○近澤　未歩
名城大学農学部

SY2-4　脂肪滴の細胞質と核内での生理的機能

○大崎　雄樹[1)]、今井　則博[2)]、程　晶磊[1)]
1)名古屋大学大学院　医学系研究科、2)名古屋大学医学部附属病院　光学医療診療部

市民向け公開シンポジウム
SY3「コロナ禍において考えるべき栄養」

チャンネル：Ch4
7月3日（土）15:30-17:30

共同主催：日本学術会議（IUNS 分科会）

オーガナイザー：熊谷　日登美（日本大学生物資源科学部生命化学科、日本学術会議 IUNS 分科会）
稲垣　暢也（京都大学大学院医学研究科、日本学術会議 IUNS 分科会）
吉田　博（東京慈恵会医科大学臨床検査医学講座）
三浦　豊（東京農工大学農学研究院応用生命化学部門）

SY3-1　新型コロナウイルスを制するための正しい知識　～ワクチンと変異と食品と～

○水谷　哲也
東京農工大学　農学部附属感染症未来疫学研究センター

SY3-2　新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の治療における臨床栄養学的アプローチ

○鷲澤　尚宏
東邦大学医学部臨床支援室、東邦大学医療センター大森病院栄養治療センター、栄養部

SY3-3　感染症予防に役立つ食事

○石田　裕美
女子栄養大学　栄養学部

SY3-4　新型コロナウイルス感染症と栄養

○酒井　徹
徳島大学大学院医歯薬学研究部実践栄養学分野

SY4「アミノ酸分析の新展開－正確性とトレーサビリティを確保された認証標準物質の開発とその重要性ー」

チャンネル：Ch1
7月3日（土）15:30-17:30

共催：日本アミノ酸学会

オーガナイザー：堂前　直（理化学研究所環境資源科学研究センター技術基盤部門）
宮野　博（味の素株式会社）

SY4-1　SI トレーサブルなアミノ酸標準物質の開発

○加藤　愛
産業技術総合研究所　計量標準総合センター

SY4-2　SI トレーサブルなアミノ酸混合標準液の開発

○井原　俊英
産業技術総合研究所　計量標準総合センター

SY4-3　血漿遊離アミノ酸濃度測定法の標準化と健常人の基準範囲

○中山　聡
味の素株式会社　バイオ・ファイン研究所　評価・分析室

SY5「食の課題に対する栄養プロファイリングによる新規アプローチ」

チャンネル：Ch1
7月4日（日）9:00-11:00

オーガナイザー：加藤　久典（東京大学大学院農学生命科学研究科応用生命化学専攻）

SY5-1　日本における栄養プロファイリング評価の重要性

○加藤　久典
東京大学大学院　農学生命科学研究科

SY5-2　栄養情報の提示と行動変容の課題と可能性

○赤松　利恵
お茶の水女子大学 基幹研究院 自然科学系

SY5-3　日本の栄養摂取課題と栄養プロファイリングモデルによる評価

○村上　健太郎
東京大学大学院　医学系研究科

SY5-4　Advances and global trends in nutrition profiling

○Adam Drewnowski
University of Washington

SY6「分子基盤から見えてくる食機能」

チャンネル：Ch2
7月4日（日）9:00-11:00

オーガナイザー：片倉　喜範（九州大学大学院農学研究院生命機能科学部門システム生物工学講座細胞制御工学分野）
礒田　博子（筑波大学生命環境系 / 地中海・北アフリカ研究センター）

SY6-1　機能性成分の腸管吸収の実際を視る

○田中　充
九州大学 五感応用デバイス研究開発センター

SY6-2　食品成分による育毛制御の分子基盤

○片倉　喜範
九州大学大学院　農学研究院生命機能科学部門

SY6-3　上皮タイトジャンクションからみた食成分の分子機能

○南雲　陽子[1,2,3]、向山　海凪[4]、臼井　健郎[1,5]
1)筑波大学　生命環境系、2)筑波大学　地中海・北アフリカ研究センター、
3)筑波大学　テーラーメイドQOLプログラム開発研究センター、
4)筑波大学　生命地球科学研究群　生命農学学位プログラム、
5)筑波大学　微生物サステイナビリティ研究センター

SY6-4　幹細胞の運命を導く食薬機能成分

○礒田　博子
筑波大学生命環境系/地中海・北アフリカ研究センター

SY7 若手シンポジウム「栄養・代謝研究の最前線」

チャンネル：Ch3
7月4日（日）9:00-11:00

オーガナイザー：豊島　由香（お茶の水女子大学ヒューマンライフイノベーション開発研究機構）

SY7-1　過栄養がもたらす細胞死と炎症，線維化

○田中　都[1)]、小川　佳宏[2)]、菅波　孝祥[1)]
1)名古屋大学　環境医学研究所　分子代謝医学分野、2)九州大学大学院　医学研究院　病態制御内科学

SY7-2　マイオカインの最前線

○眞鍋　康子、三田　佳貴、古市　泰郎、藤井　宣晴
東京都立大学　大学院　人間健康科学研究科

SY7-3　神経疾患と栄養エネルギー代謝障害

○田口　明子
国立長寿医療研究センター研究所統合神経科学研究部

SY7-4　タンパク質栄養状態を反映した血中アミノ酸プロファイルが組織特異的な脂質代謝を制御する

○伯野　史彦
東京大学　大学院農学生命科学研究科　応用動物科学専攻

SY8 市民向け公開シンポジウム「東京栄養サミット 2021 に向けての動き・取り組み」

チャンネル：Ch4
7月4日（日）15:00-17:00

共催：日本栄養学学術連合

オーガナイザー：武見　ゆかり（女子栄養大学栄養学部）
仲川　清隆（東北大学大学院農学研究科）

SY8-1　栄養政策推進の観点からみた東京栄養サミット 2021 の意義

○鷲見　学
厚生労働省健康局健康課

SY8-2　東京栄養サミットに向けた栄養学学術連合の取り組み

○仲川　清隆[1)]、瀧本　秀美[2)]
1)東北大学大学院、2)国立研究開発法人　医薬基盤・健康・栄養研究所

SY8-3　民間企業におけるコミットメント作成への取組み

○金森　知美
栄養改善事業推進プラットフォーム(NJPPP)事務局

SY8-4　持続的な栄養改善に向けて：ケニアからの現場報告

○長坂　優子
特定非営利活動法人日本リザルツ　ケニア駐在員